

臨床薬学教育におけるデジタルトランスフォーメーションに関する研究

(1) 研究課題名

臨床薬学教育におけるデジタルトランスフォーメーションに関する研究

(2) 研究組織

大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野

大阪大学大学院薬学研究科附属実践薬学教育研究センター

(3) 研究の対象

以下の開講科目名の受講生および過去に受講した受講生のうち、本研究への参加に同意が得られた方および現役薬剤師

アンケートに記載した「同意する」という項目に記入し、アンケートを提出する事で、研究への参加に同意したと扱わせて頂きます。

〈開講科目名〉

薬学入門1～4、事前学習2、実務実習（薬局・病院）、医療薬学特論、臨床薬学1～2、薬物治療演習1、医療薬学特別講義

(4) 研究の背景と概要

新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ、実務実習や医療機関見学実習等が中止、縮小を余儀なくされるなど、学生の教育機会が大きく失われています。一方で、オンライン診療やオンライン服薬指導の需要が大きく高まっています。そのため現在、デジタルトランスフォーメーション（DX）の技術を活用した教育プランを新たに策定することが求められており、本学では、バーチャル実習システムの開発やオンライン服薬指導教育プログラムの構築に取り組んでいます。そこで本研究では、DXを活用した新たな薬学教育プランの有用性を検討するためのアンケート調査を行います。

(5) 研究の目的および意義

本研究では、バーチャル実習システムの開発やオンライン服薬指導教育プログラムの構築を通して実践的な知識・技能・態度を身に付けた、ウィズコロナ時代において即戦力となり得る薬剤師を育成する教育プランを策定することを目的としています。本研究により、その教育プランの有用性が明らかになれば、ウィズコロナ時代において様々な制約がかかる中でも、効果的な薬学教育が実現されると期待されます。

(6) 研究の方法および期間

以下の開講科目名においてバーチャル実習システムやオンライン服薬指導教育プログラムを活用した講義を実施し、その講義の前後において、受講生に対するアンケート調査を実施します。アンケートには、理解度、自信度や操作性など、講義内容に応じた質問項目を設定し、主に5段階のリッカート尺度を用いて評価します。また、自由記述による感想も評価対象とします。講義前後のリッカート尺度の変化に対してはウイルコクソンの符号順位和検定を用いて解析します。統計処理には、BellCurve for Excel等を使用し、有意水準を5%として検定します。なお、本研究におけるアンケート評価は成績評価には一切関係ありません。

授業レポートに利用については、文書により同意をいただきます。さらに一度同意をしたとしてもいつでも同意を撤回できます。その場合当該学生の授業レポートは使用いたしません。なお、収集した情報や講義レポート等の研究利用への同意の有無は、成績評価の対象とは一切関係ありません。

〈開講科目名〉

薬学入門1～4、事前学習2、実務実習（薬局・病院）、医療薬学特論、臨床薬学1～2、薬物治療演習1、医療薬学特別講義

(7) 情報の開示とその方法

得られた研究結果は、学会発表・論文公表を行う場合がありますが、発表内容に個人の特定に繋がる内容は含めません。

(8) 個人情報の取り扱い

アンケートは匿名で行い、個人情報は収集しません。データは大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野に集められ、研究実施担当者によって、ネットワークから隔離された PC を用いて解析されます。収集されたデータおよび解析されたデータは、パスワード付きの USB メモリーに保存され、研究責任者（池田賢二）が大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野教授室の鍵のかかる引き出しに厳重に保管します。研究終了後、データが保存された USB メモリーは、物理的に破壊して廃棄されます。

(9) 連絡先

大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野 池田賢二 06-6879-8251

(10) 研究への参加を拒否する方法

本研究への参加に同意いただけない場合はアンケートに回答しなくて構いません。また、同意撤回を希望される場合は、上記連絡先までお知らせください。その場合、一切の不利益はありません。